

核のごみ

神恵内村 調査を受諾 寿都町 応募書類提出

北海道

原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分地選定をめぐる、北海道神恵内（かもえない）村の高橋昌幸村長は9日、政府の申し入れを受け、第1段階に当たる「文献調査」を受け入れると表明しました。同日午前には同じ北海道の寿都（すつ）町が調査への応募書類を提出しました。

神恵内村議会は8日、文献調査への応募を求めた地元商工会の請願を採択しました。これを受け、経済産業省は9日、同村に職員を派遣し、調査実施を申し入れました。一方、寿都町の片岡

春雄町長は9日、東京都内の原子力発電環境整備機構（NUMO）を訪れ、調査への応募書類を提出しました。調査への応募は200

7年の高知県東洋町以来13年ぶり。片岡町長はNUMO訪問後、経産省内で梶山弘志経産相と会談し、「しっかり勉強する」と志しました。

ノーで力を合わせよう

島山氏「町民の会」代表らと懇談

寿都町

「核のごみノーで力を合わせましょう」

に核のゴミのない寿都を「町民の会」の代表らと話し合いました。「町長は、町財政のために国から交付金を取るという話ばかり。町民から、貧乏でいいから核のごみを受けな

「核のごみ」最終処分場誘致に向けた文献調査への応募を表明した8日、日本共産党の

「町長が『町は先細り』と言つのは時代の変化が見えていないから。町長が外れた町づくりを展望したい」

島山和也前衆院議員と菊地葉子、宮川潤両道

と会の吉野寿彦共同代表。水産加工会社社長で約800の反対署名

議らは、「子どもたち

て正しい判断ができるよう進めていきたい」と語りました。梶山氏は「議論を喚起していただいたことを感謝する」と志しました。

と将来を見ずえます。ペンション経営の梶谷和幸氏も会のメンバーです。住民説明会で町長が「共産党の幸坂順子町議が（情報を）リーク（暴露）した」と

と触れ回った時に「町民に情報をくれた幸坂さんは英雄だ」と反論したのが梶谷氏。「町民に隠して進めるのは町民への裏切り。原発の交付金に依存する町

になつてはいけない」と歩調を合わせる越前谷由樹町議（無所属）と懇談しました。「越前谷さんと一緒だったから反対を働き、街頭宣伝に取り組めた」と

なく全道の応援を」との越前谷氏の要請に、島山氏は「核のごみは自治体の問題ではありません。全道民の運動に向けて、日本共産党として頑張ります」と志しました。



吉野氏（右）から話を聞く島山氏（左）から2人目。11日、北海道寿都町

撤回求め声明 共産党道委

日本共産党道委員会 は8日、高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分場建設にかかわる「文献調査」への応募表明に強く抗議し、撤回を求めるとの声明を発表しました。声明は、「核のごみの最終処分場が設置されることによる危険性は計り知れず、影響は広範囲に及び、けつして自治体だけの問題ではない」と指摘。核のごみの処分は原発・エネルギー政策の根幹にかかわる重大問題であり、交付金を使って地方自治体に応募させる方式は極めて問題がある」と告発します。

撤回求め声明 共産党道委 からわずか2カ月余、「住民への説明が十分でないのは明らか」と強調。「道には道民の総意で制定された核のごみを『受け入れ難い』とする『核抜き』条例があり、表明は条例を踏みにじるもの」と批判しています。

国は、両町村の文献調査は行わず、交付金を使って地方自治体に応募させる方式は中止し、専門的知見を十分に踏まえ再検討するよう強く求める、破綻した「核燃料サイクル」は断念し、核のごみを増やし続ける原発再稼働はただちに中止するよう求めています。

共産党道委 からわずか2カ月余、「住民への説明が十分でないのは明らか」と強調。「道には道民の総意で制定された核のごみを『受け入れ難い』とする『核抜き』条例があり、表明は条例を踏みにじるもの」と批判しています。